

ヨシのあるまちづくり

栃木市 渡良瀬遊水地

パートナー 堀江修 櫻井美紗

13班 コミュニティデザイン学科

建築都市デザイン学科

社会基盤デザイン学科

塚田貴大

黒川敦史

前田和輝

葛西里彩子

島田一樹

六本木晶瑚

1 課題背景

渡良瀬遊水地

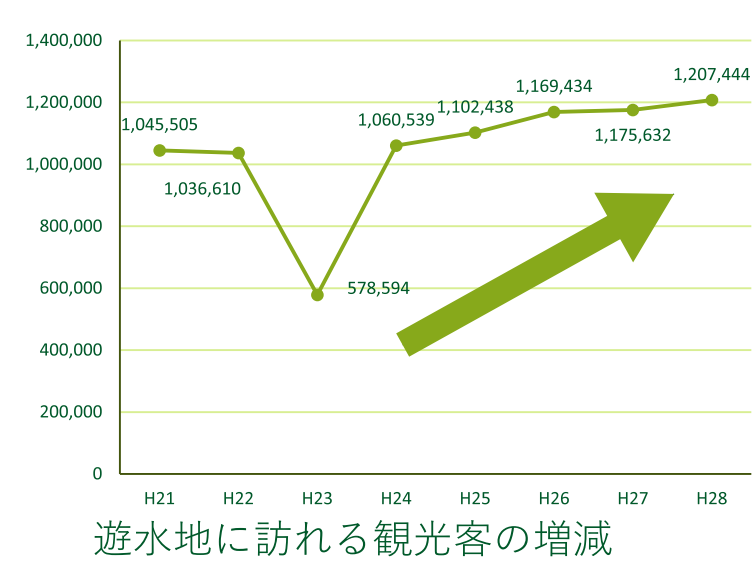
関東4県にまたがる国内最大の遊水地である。

2012年ラムサール条約湿地に認定され、治水、利水の役割がある。観光客の増加する一方で、お土産や特産品となるものがないという声が上がっている。

ヨシ

ヨシ製品の1つであるヨシズ(すだれ)は海外産の低価格に押され、国産の需要が低下している。

現在は湿地環境の保全と良質なヨシを育成するため、害虫駆除を目的にヨシ焼きをしている。しかし、降灰と黒煙が問題となっている。



2 調査目的

- 「ヨシ」の新たな利用方法を考えること
- 「ヨシ」を用いて、栃木市とその周辺地域を盛り上げる
- 渡良瀬遊水地に多くの人に足を運んでもらうこと

3 調査方法

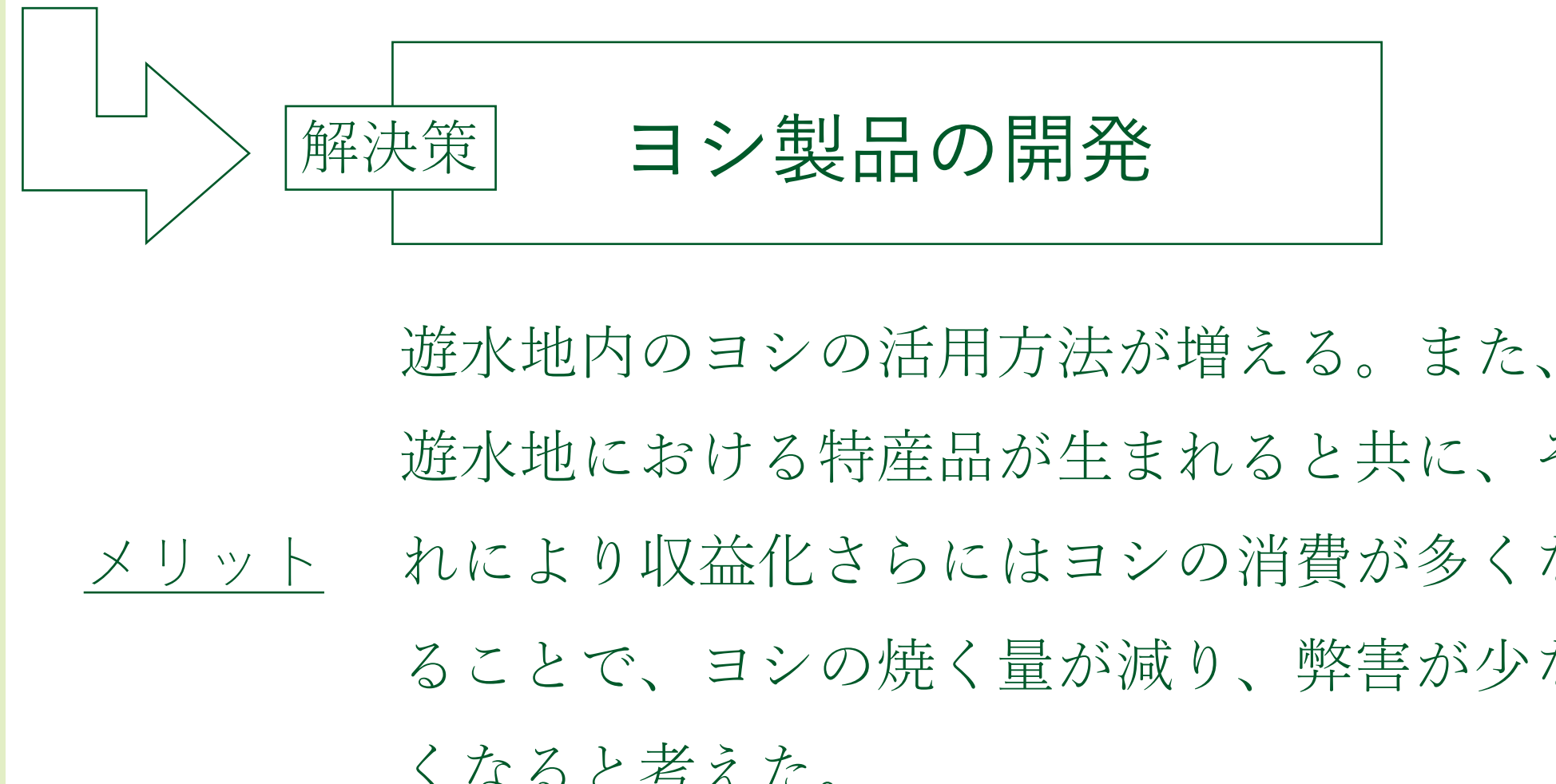
インターネット	遊水地課の方の話を聞く	現地訪問
ヨシの基本情報はインターネットを使うことで、素早く多くの情報を調べられる。	遊水地課の方から、ネットでは分からない現地の方の悩みや、現状を知る。	話を聞くだけでは分からないことを自分の目で実際に確認することができる。

4 調査結果

- 課題背景
- 調査目的
- 現地訪問

浮き彫りになった課題とは？

- 海外産のヨシが安く、国産の需要が低下している
- ヨシ焼き時に生じる黒煙、降灰で近隣に苦情が上がる
- レジャースポーツなどが存在し、観光客が増加している
- 特産品がなく、遊水地としての収益が少ない
- ヨシの焼く量が多く、燃え切らない



5 結果分析

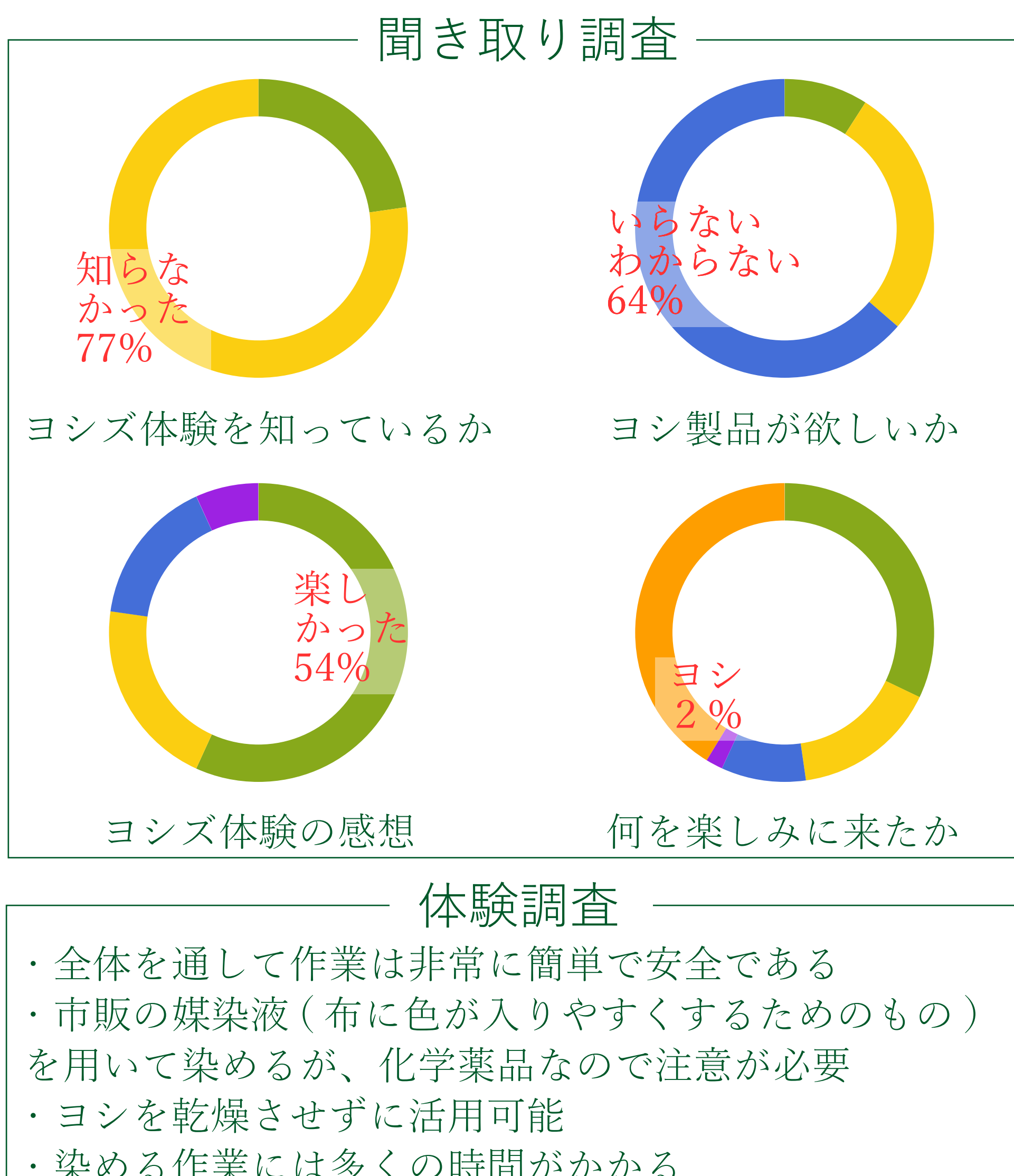
ヨシ製品の開発に向けて…

- 問題点
- 実際の製品に本当に需要があるか
 - 時間はどれくらいかかるのか
 - 他にどのように使い方があるか

これらを調査する必要がある

聞き取り調査	体験調査
遊水地のイベントに来た人から直接聞くことで、一人一人から確実な返答をもらうことができると考えた。調査日：2018年9月2日 聞き取り人数 44人	実際にヨシ染め、ヨシ細工を行うことで、必要なものや、所要時間、自らの感想を得ることができると考えた。調査日：2018年9月27日

6 再調査結果



7 再調査分析

聞き取り調査

- ヨシを楽しむ人は少数であった
- ヨシ体験は楽しかった
- ヨシ製品には需要が少ない

体験調査

- 作業は比較的簡単
- 自分でも材料を作れる
- 所要時間がかかる

まとめ

製品は売れにくい

- 地域の人、ヨシに興味薄い
- ヨシ体験は年代を問わずに楽しめる

待ち時間が多く、その間に別のことを行える

小学生でも行える

解決策 ~~ヨシ製品の開発~~ → まず、ヨシを知ってもらう！！

ヨシ製品の需要の低さから、ヨシ製品を作ってもヨシに興味を持つ人が少なく売れにくい。そこで、まずヨシに関して、知ってもらい、遊水地に足を運んでもらうことで、ヨシに興味を持ってもらうことが大事だと考えた。

8 提案内容

ヨシを知ってもらうためには？

興味がないのに単純に広告を出せばいいのか、そんなことでは広まらない。そこで、ヨシ体験コーナーに来た方は楽しいという回答が多かった。さらに、子ども連れも多く年代問わず楽しめることが分かった。ヨシ灯り展に参加した小学校の先生方への聞き取り調査を行い(12月1日)、小学生は体験できるものに興味を持つことが分かった。

解決策 子どもに向けたイベント性がある提案

No.1 遊水地地域学習プログラム

藤岡地区周辺の小学校に対する提案。小学校の校外学習は記憶に残るもの。小学校を通して学ぶことで、よりヨシを印象付けようと考えた。基本的には、総合の時間、社会科の時間に行うことと想定する。

No.2 自由研究イベント

藤岡地区以外の小学校に対する提案。藤岡地区ほど遊水地が近くない小学校はいきなり授業プログラムを取り入れるのは難しいと考えた。そこで、夏休みの自由研究と題して、家族で楽しめるイベントにした。これにより、遊水地を遊べる場として知ってもらうことで、リピートを増やせると考えた。

No.1 遊水地地域学習プログラム

	遊ぶ 触れる	見る 作る	調べる 伝える
授業目標	低学年 低学年では楽しいを基本に、記憶に残る体験をする。その中で、今不足していると言われる能力を補う。	中学年 実際にヨシに触れ、ヨシの思い出を作り、より親しみを持つために観察するとともに見る力を養う。	高学年 高学年は、遊水地についてより詳しく学び、興味関心を生む。また、社会で必要となる能力を身に着ける。
内容	笹舟を作る 花でレースを作る 鬼ごっこをする 創作遊びをする 探検をする 生き物を探す 展望台に上る	材料を取りに行く ヨシを使ったものを作る 遊水地を見学する 鳥、動物、虫、魚を観察する	ネットで調べる 本で調べる グループで相談する 調査をまとめる 人前で発表する
授業展開	4または8グループを作る。各グループにスタッフが付き、上記の内容をローテーションして体験する。	材料採集後、ヨシ染め、ヨシ細工終わりに発表会開催 遊水地見学後、発見カードを用いて観察し、最後に発表会を行う	5人程度のグループ 1.役割分担し調査する 2.結果をまとめる 3.ポスターを作る 4.発表する

No.2 自由研究イベント

主旨	夏休みの自由研究	
企画名	集まれ！未来の科学者！ヨシ染めを研究しよう！	
目的	藤岡地区だけでなく、栃木市全域に遊水地に足を運んでもらい、ヨシや遊水地に興味を持ってもらう	
対象	栃木市内の小学生(4年生以上)	
場所	ハートランド城(仮)	
時期	夏休み中	
申し込み方法	学校で配られたチラシに付随する申込用紙または電話またはネット予約	
内容	ヨシを使ったヨシ染め、ヨシ細工作り等を行う 1組1000円程度を徴収 ハンカチはこちらで用意する 追加分は参加者が持参し、染めても良い	
費用	染める物	ハンカチまたは手ぬぐい
	媒染液	1本1000円 1組半分くらい
	接着剤	1個100円
タイムテーブル	時間	内容
	12:00~13:00	ヨシを採取、遊水地についての説明(DVD鑑賞など) 昼食をとりながらでも可
	13:00~14:30	ヨシを切る⇒煮る
	14:30~16:30	染め開始 染めている間にできること ヨシランプ・ヨシ紙作り
	16:30~17:00	解散